

## ・東日本大震災を教訓とした社会資本整備のあるべき姿の再検討

大震災を受け、社会資本整備の最も重要な使命が「国民の命と暮らしを守る」ことを改めて強く認識。大震災を教訓に、ハード・ソフト連携による防災・減災対策や低炭素・循環型社会の実現などの視点を明示。

## 1. 基本的な政策分野に即した社会資本整備が目指す姿

### ・政策課題別のあるべき姿

中長期を見据えた政策の方向性を記述。社会資本整備が目指す姿を明示。

### ・プログラム別のあるべき姿

社会資本整備が目指す姿の実現に向かって行う取組について、事業・施策群(プログラム)単位で説明。

## 2. 計画期間における重点目標

計画期間内に重点的・優先的に実施する事業に関する「選択と集中」の基準を明示。

## 3. 計画の実効性を確保する方策